

中国株ウィークリーレポート

2018/7/9

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	17年末株価
NYダウ	24,456.48	99.74	0.41	0.76	-1.06	24,719.22
NASDAQ	7,688.39	101.96	1.34	2.37	11.37	6,903.39
日経225	21,788.14	241.15	1.12	-2.32	-4.29	22,764.94
上海総合	2,747.23	13.35	0.49	-3.52	-16.93	3,307.17
滬深300 (CSI300)	3,365.12	22.68	0.68	-4.15	-16.52	4,030.86
ハンセン	28,315.62	133.53	0.47	-2.21	-5.36	29,919.15
中国企業	10,622.62	14.56	0.14	-4.07	-9.28	11,709.30

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.2%安と4週続落、上海総合指数は3.5%安

香港市場は2日が休場のため4日間の取引。4日間で2.2%安と4週続落した。米国による制裁関税の発動期限が迫るのを前に投資家のリスク回避姿勢が続いた。ハンセン指数は3-5日にかけて3日続落。制裁関税が発動された6日は悪材料出尽くし感で4日ぶりに反発したが、連日節目の28000ポイントをはさんだ値動きが続いた。本土市場では上海総合指数が週間で3.5%安と7週続落。貿易摩擦激化への警戒感や人民元安の進行に伴う資金流出懸念が相場の重しとなった。

今週の展望:香港市場は買い戻し優勢の展開か、足元の下落で下げすぎ感

香港市場は買い戻し優勢の展開が見込まれる。6日の制裁関税発動で米中貿易戦争は現実のものとなったが、先週は発動後に目先の悪材料出尽くし感から相場は反発しており、下げすぎ感から週初は自律反発の動きが期待される。ただ、この流れは一時的なものになりそうで、その後は米中貿易戦争による景気への影響など先行き不透明感から上値の重い展開になる公算が大きい。本土市場も買い戻しが先行しそうだが、その後は上値の重い展開が見込まれる。今週から来週にかけて発表される経済指標には要注意か。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 長江インワ (01038)	61.00	4.90
2 中電控股 (00002)	88.10	4.26
3 太古A (00019)	86.00	3.49
4 電能実業 (00006)	56.65	3.28
5 Link REIT (00823)	74.00	3.28
6 華潤電力控股 (00836)	14.12	2.17
7 長江和記実業 (00001)	84.10	1.08
8 九龍倉置業地産 (01997)	56.45	1.07
9 東亜銀行 (00023)	31.65	0.96
10 新鴻基地産 (00016)	119.50	0.93

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 交通銀行 (03328)	5.47	-8.99
2 石業集団 (01093)	21.90	-7.59
3 CNOOC (00883)	12.58	-7.09
4 碧桂園 (02007)	12.92	-6.38
5 サス・チャイ (01928)	39.35	-6.20
6 中国工商銀行 (01398)	5.53	-5.79
7 中国銀行 (03988)	3.67	-5.66
8 中国人寿保険 (02628)	19.16	-5.38
9 銀河娛樂 (00027)	57.50	-5.35
10 卜内門 (00857)	5.66	-5.19

▼今週の主なイベント

- 7月10日(火)
- 【中国】CPI, PPI (6月)
- 7月13日(金)
- 【中国】貿易統計(6月)

▼今週の期待材料

- ◆6日発表の6月の米雇用統計が市場予想を上回る強い結果に、非農業部門の雇用者数は21.3万人増
- ◆米中貿易戦争で通商交渉の再開や譲歩の動きに期待、具体的な動きが出てくれば相場が急反発する可能性も
- ◆上海総合指数は先週まで7週続落で14%下落、相場下落で上場企業の自社株買いが活発化

▼今週の懸念材料

- ◆米中貿易戦争で2週間後には第2弾の制裁関税を発動、トランプ大統領はその後も規模拡大を示唆
- ◆米中貿易戦争で香港にも影響が及ぶ公算、香港政府は中継貿易への直接の影響が700億HKドルと試算
- ◆中国人民銀行が先週の公開市場操作で差し引き5000億円の資金を吸収、前週から吸収規模が拡大

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ テンセント (00700) : 音楽・娯楽部門の米上場計画を香港証券取引所に申請
- ☆ 中興通訊 (00763) : 米商務省が8月1日まで制裁の一部を暫定的に解除
- ☆ 龍源電力 (00916) : 6月の発電量が11%増加、主力の風力発電は16%増
- ☆ 中国中車 (01766) : 4-6月に8件の大口受注を獲得、総額220.7億元
- ☆ 中国龍工 (03339) : 18年6月中間決算は大幅増益の見通し、コスト抑制などが奏功
- ☆ 遠洋集団 (03377) : 6月の不動産販売額が70%増加、販売面積は36%増
- ◇ 中国再保険 (01508) : 中国長城資産管理に戦略出資、50億元で株式6.5%を取得
- ★ BYD (01211) : 6月の自動車販売台数は前月比で0.5%減少、新エネ車は20%増
- ★ 中国交通建設 (01800) : 発注者からの要請でマレーシア東海岸鉄道の工事を中断
- ★ 小米集団 (01810) : 9日に香港メインボードに上場、初値は公開価格比2.4%安

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。